

安全性データシート

欧州委員会規則 (European Commission Regulation, EU) 2020/878に従い



PCP

バージョン : 06: 2026年01月14日

1. 当該の物質 / 調剤および企業 / 請負企業の特定

1.1 製品識別子

商品名 : PCP (全てのバージョン)

1.2 当該の物質または混合物の適切な認定された使用法および推奨されない使用法

当該の物質 / 混合物の使用法 : プラスチック加工装置を洗浄するための洗浄剤

1.3 安全性データシートの提供者詳細

企業 電話番号 登録番号  
Aquapurge Ltd社 +44(0) 20 8813 7990 3463169

Unit 2, Argent Trade Park,  
Pump Lane,  
Hayes, Middlesex UB3 3NB  
電話番号: 020 8813 7990

電子メールアドレス  
[enquiries@aquapurge.com](mailto:enquiries@aquapurge.com)

1.4 緊急時電話番号

担当部署: +44 (0) 7850 852 872

Aquapurge Office : +44(0) 20 8813 7990

連絡先 NHS Direct : 電話番号 0845 46 47 または 111. 営業 24時間/年中無休

2. 危険有害性の要約

2.1 当該の物質または混合物の分類

分類 (規制 (EC) No. 1272/2008)

危険有害性ではない物質または混合物

2.2 ラベル内容

ラベリング (規制 (EC) No 1272/2008)

危険有害性ではない物質または混合物

2.3 その他の危険有害物

さらなる処理、取り扱い中または他の手段により微粒子が生成されれば、可燃性の粉塵濃縮物を空中に形成することがあります

この物質 / 混合物は、持続性、生体内濃縮性および毒性 (PBT) を有せず、0.1%以上の濃度でさまざまな持続性と非常に生体内濃縮性 (vP vB) の高いと考えられる成分も含有しません

3. 組成/原料に関する情報

3.1 物質

該当せず

3.2 混合物

説明  
化学的洗浄剤

危険な成分  
0.1% w/w を超える高度懸念物質 (Substance of Very High Concern, SVHC) は含有していません

## 安全性データシート

欧州委員会規則 (European Commission Regulation, EU) 2020/878に従い



### PCP

バージョン：06: 2026年01月14日

## 4. 応急処置

### 4.1 応急処置の説明

#### 一般的なアドバイス

- 救助および応急処置を講ずる前にあなた自身の健康状態および安全性を確保するために適切な予防措置を講じてください
- 疑いのあるあらゆる場合または症状が持続する際は、医師の診察を受けます

#### 吸入

- 過熱または燃焼による塵または煙を偶発的に吸入した場合は新鮮な空気のある場所にその者を移動させます
- 症状が持続する場合は、医師を呼びます

#### 眼への接触

- コンタクトレンズを取り外します
- 原材料が目接触した場合、直ちに十分な量の水で洗い流しますが、目の刺激が持続した場合医師の診察を受けます
- 水洗いの間には目を大きく開き続けます
- 溶融高分子が目接触した場合、15分以上続けて、冷たい流水で目を洗い流します。水洗い以降に目に付着した原料を除去しようとしては**いけません**
- ただちに医師の診察を受けます

#### 皮膚接触

- 直ちに十分な量の水と石鹼で洗い流します
- 溶解した製品に接触した後に、影響を受けた皮膚領域を水で素早く冷やします。皮膚から固まった製品を除去しようとしては**いけません**
- 直ちに汚染された衣服と靴を脱ぎます。石鹼と十分な量の水で洗い流します。

#### 口からの摂取

- 水で口をゆすぎ、その後大量の水を飲みます
- 牛乳またはアルコール飲料を与えては**いけません**
- 嘔吐を誘発させては**いけません**

無意識の者に**絶対に**口から何かを与えては**いけません**

## 5. 防火対策

### 5.1 消火剤

#### 適切な消火剤

##### 小さな火災

- 二酸化炭素を (CO2)、乾燥粉末および散水を用います

##### 大きな火災

- 安全な場所から散水ホースノズルを用います

#### 不適切な消火剤

- 知られている限りではありません

### 5.2 当該の物質または混合物から生じる特別な危険

#### 消火活動中の特定の危険

- 熱および発火源から離れています
- 一酸化炭素、二酸化炭素および未燃炭化水素などの火災の危険性のある分解生成物を発生させ得る場合

### 5.3 消防士に対するアドバイス

#### 消防士に対する特別な保護具

- 火災時には、自給式呼吸器を装着します。
- 個人用防護具を用います

#### さらなる情報

- 可燃性粒子状固体は、火災の状況下で分解します
- 発熱量、すなわち 8000 - 11000 kcal/kg
- ホースノズルまたはモニターノズルを用いて安全な場所から消火にあたります。
- 火災からの熱はポリマーを溶かして分解して、可燃性蒸気を発生させることがあります
- 容器がリスクなしに移動できれば火災領域から移動させます。貯蔵容器の圧力減圧装置を開ける際または容器が変色した際には直ちに避難します

## 安全性データシート

欧州委員会規則 (European Commission Regulation, EU) 2020/878に従い



### PCP

バージョン：06: 2026年01月14日

## 6. 偶発的漏出時の措置

### 6.1 個人保護、防護具および緊急時の対応

#### 個人保護

- 適切な保護を用いて対応者に装備を与えます
- 適切な個人保護具 (Personal Protective Equipment, PPE) を用いて対応者に緊急用装備を与えます
- 粉塵の発生を避けます
- 空気中に粉塵が飛散することを避けます (すなわち、圧縮空気を用いて粉塵の表面を取り除きます)
- 潜在的な可燃性粉塵の危険
- ポリマー粒子は硬くて滑らかな表面に滑る危険をもたらします。

### 6.2 環境に関する注意事項

#### 環境に関する注意事項

- 表面または衛生下水道システムに水を流してはいけません
- 環境中への制御されていない製品の漏出をしてはいけません

### 6.3 封じ込めと浄化のための方法と材料

#### 浄化の方法

- 機械的に除去して、廃棄用の適切な容器に入れます
- 粉塵の発生を避けます
- 発火リスクを避ける装置で真空にします
- 適用される法律および規制および良好な工学的実践に準拠して
- 回収されたすべての材料を梱包して、ラベルを貼り、輸送して廃棄または再利用する必要があります
- 可能な場合は再利用します

### 6.4 他のセクションの参照

- 廃棄上の注意事項: セクション13を参照

## 7. 取り扱いおよび保管

### 7.1 安全な取り扱いのための注意事項

#### 安全な取り扱いに対するアドバイス

- 材料は粗くて滑らかな顆粒状
- 密閉空間に粉塵の集積を避けます
- 粉塵の発生を避けます。空気中および発火源の存在下で浮遊する細かな粉塵には潜在的な粉塵爆発の危険があります
- あらゆる発火源を取り除きます
- 高粉塵環境中の静電放電 (スパーク) または発火源は粉塵を発火させて、粉塵爆発を招く結果となることがあります
- 帯電は輸送中または取り扱い中に生じることがあります
- 機器取扱品は、導電性であり、接地 (接地) および結合する必要があります
- この材料の移動に関与する金属製容器は接地および結合する必要があります
- あらゆる電気設備は、適用される電気コードおよび地域の規制要件に準拠する必要があります可燃性粉塵の取り扱い
- 取り扱い後には、常に石鹸と水で十分に手を洗います
- 処理温度に材料を持っていく時には、蒸気が発生して排気 換気口で凝縮することがあります。セクション10を参照のこと

#### 衛生対策

- 本製品使用時には、飲食、喫煙をしてはいけません
- 休憩前および終業時には手を洗います

#### 消防の授業

- 製品は燃えますが簡単に発火しません

安全性データシート

欧州委員会規則 (European Commission Regulation, EU) 2020/878に従い



PCP

バージョン : 06: 2026年01月14日

8. 曝露制御 / 個人保護

8.1 職場制御パラメータを用いた材料

PCP

	値	更新	基準
この製品を取り扱う際に形成され得る材料 非特定 (不活性または迷惑な) 粉塵	<14.4 mg/m3 吸入可能	2020	EH40 WEL
この製品を取り扱う際に形成され得る材料非特定 (不活性または迷惑な) 粉塵	<4.8 mg/m3 皮膚の	2020	EH40 WEL

8.2 曝露管理

適切な工学的制御

- この製品を取り扱うために使用される機器に対する国際標準 NFPA 654推奨内容に従います (修正および採用されたものとして)
- 工学的制御、すなわ密閉システムが以下の曝露維持を実施可能である時は、いつでも使用される必要があります。そのような制御が実施可能でない時、または完全準拠した他の工学的制御を達成するに十分である時

個人用保護具

呼吸保護

- 空气中レベルを以下の推奨曝露限界未満に維持するプロセスエンクロージャ、局所排気装置または他の工学的制御
- 作業者が曝露限界を超える濃度に直面している時には、彼 (女) らは適切な認可済み人工呼吸器を使用しなければなりません
- 雰囲気が増え限界を超える場合は適切な呼吸保護を使用します
- 作業者が曝露限界を超える粉塵濃度に曝露する可能性がある場合は、彼 (女) らは適切な認可済み人工呼吸器を使用しなければなりません

目の保護

- 粉塵除去ゴーグルは、この製品を取り扱うことが原因であると考えられる空中を浮遊する微粒子によって目の機械的損傷または刺激を防ぐ目的で装着する必要があります
- 設備の浄化または解体時にフェイスマスクを装着する必要があります

手の保護

- 長期にわたるか繰り返しの接触には、保護グローブを使用します
- 加熱材料に振れる可能性がある場合には、熱保護をもたらすグローブを装着します

皮膚および身体の保護

- 適切な保護衣服を着用します

衛生対策

- 適切な個人用保護具の選択は、実施される作業に関連する保護具の性能特性、現状、使用期間および危険および/または使用中に遭遇すると考えられる潜在的危険に基づくべきです
- 良好な個人の衛生習慣を用います
- 飲食、喫煙またはトイレ設備の使用前に手を洗います
- 汚染された衣類を脱ぎ、再使用前に洗います

環境中曝露制御

一般的なアドバイス - セクション6を参照のこと

## 安全性データシート

欧州委員会規則 (European Commission Regulation, EU) 2020/878に従い



### PCP

バージョン：06: 2026年01月14日

## 9. 物理的および化学的性質

### 9.1 基本的な物理的および化学的性質に関する情報

物理的状態	: 粗くて滑らかな顆粒
色	: 白色
匂い	: わずか
融点 / 凝固点	: 50 - 170 ° C
沸点・沸点範囲	: 該当せず。
可燃性 (固体、ガス)	: ポリマーは燃焼しますが簡単には発火しません。
爆発下限界	: 粒度分布に従ったポリマー粉塵に対する 最小点火濃度 (MEC)
爆発上限界	: 該当せず。
引火点	: > 340 ° C
自然発火温度	: > 350 ° C
分解温度	: > 450 ° C
pH	: 8.5 - 9.5、濃度100 g/l (20°C)
粘度、動的	: 該当せず。
水溶性	: 入手可能データなし
分配係数	: 入手可能データなし: n-オクタノール/水
蒸気圧	: 注: 非適用
酸化特性	: 酸化剤とは考慮されず
密度	: <1 g/cm <sup>3</sup>
相対蒸気密度	: 非適用

#### 9.2.1 物理的危険物クラスに関する情報

更なる情報はなし

#### 9.2.2 その他の安全性特性

更なる情報はなし

## 10. 安定性と反応性

### 10.1 反応性

反応性の危険は知られていません

### 10.2 科学的安定性

通常の状態では安定

### 10.3 危険な反応の可能性

危険な反応 : 起こりません

### 10.4 回避条件

回避条件 : 強力な酸化剤、過度の熱、火花または直火との接触を避けます

### 10.5 相性が悪い材料

避けるべき材料 : 材料は炭化水素によって軟化可能です

### 10.6 危険な分解生成物

危険な分解生成物- 一酸化炭素、二酸化炭素、未燃炭化水素 (煙)

熱分解 - 一酸化炭素、オレフィン系化合物およびパラフィン系化合物、微量の有機酸、ケトン、アルデヒドおよびアルコールが形成されることがあります

発熱量: 8000 - 11000 kcal/kg

PCP

バージョン : 06: 2026年01月14日

11. 毒性資料

11.1 毒物学的影響に関する情報

急性毒性

急性経口毒性 : 分類されずまたは0.1% w/w未満

急性吸入毒性 : 分類されずまたは0.1% w/w未満

急性経皮毒性 : 分類されずまたは0.1% w/w未満

皮膚腐食性/皮膚刺激性 : 分類されずまたは0.1% w/w未満

重度の眼の損傷/眼の刺激 : 分類されずまたは0.1% w/w未満機械的刺激の可能性があります

呼吸器感作性又は皮膚感作性 : 分類されずまたは0.1% w/w未満

生殖細胞の変異原性 : 分類されずまたは0.1% w/w未満

慢性毒性

発がん性 : 分類されずまたは0.1% w/w未満

生殖毒性

生殖能力への影響 / : 分類されずまたは0.1% w/w未満

乳の分泌または授乳による影響

発達への影響 : 分類されずまたは0.1% w/w未満

全身性標的臓器毒性物質 : 当該物質または混合物は、特定標的臓器毒物として分類されていません (単回曝露)

全身性標的臓器毒性物質 : 当該物質または混合物は、特定標的臓器毒物として分類されていません (繰り返し曝露)

吸引性呼吸器有害性 : 分類されずまたは0.01% w/w未満

11.2.1 内分泌かく乱特性

内分泌かく乱特性 : 分類されずまたは0.1% w/w未満

11.2.2 その他の危険の情報

その他の危険の情報 : 有意な悪影響または健康への悪影響は知られていません

安全性データシート

欧州委員会規則 (European Commission Regulation, EU) 2020/878に従い



PCP

バージョン : 06: 2026年01月14日

12. 生態学的情報

12.1 毒性

生態毒性評価

急性水生毒性

: 分類されずまたは0.1% w/w未満

慢性水生毒性

: 分類されずまたは0.1% w/w未満

12.2 残留性と分解性

生分解性

: 生分解性であるとは予想されていません

12.3 生体蓄積の可能性

生体蓄積性

: この物質は生体蓄積であるとは予想されていません

12.4 土壌中での移動性

入手可能なデータがありません

12.5 PBTおよびvPvB評価の結果

この物質/混合物は、難分解性、高蓄積性、毒性を有する (PBT) または非常に持続性があり、生物蓄積性が高い (vPvB) と考慮される成分を含有していません。

12.6 内分泌かく乱特性

内分泌かく乱特性

: 有意な影響は知られていません

12.7 その他の悪影響

さらなる生態学的情報

- 生態毒性は、ポリマーの低水溶性に基づいて最小と予想されています
- この製品について入手可能なデータはありません。一方、鳥、魚および他の野生生物は、腸管を閉塞する粉末を食べると考えられます
- 固体状態では、これらのミネラルは地球の表面の岩の主要な一部です。それらは自然な状態で分解して、自然水の不可欠な一部です。これらのミネラルは生分解性ではありません。このため、環境への負の効果は、除く必要があります。自然水中のこれらのミネラルの濃縮懸濁液は、水生生物への好ましくない影響が考えられることを 規制が示していると考えられます (高等水生生物の存在への堆積物とその後の弊害における微生物相および微小動物相の混乱)

13. 廃棄上の注意事項

13.1 廃棄物処理方法 製品

: 適用される法律および規制および良好な工学的実践に準拠して回収されたすべての材料を梱包して、ラベルを貼り、輸送して廃棄または再利用する必要があります。可能な場合は再利用します。可能であればリサイクルします

13.2 廃棄物に関する関連規定

: 廃棄物の識別番号の配分/廃棄物の説明は、業界とプロセスに特有の EEC に従い実施しなければなりません

13.3 容器包装廃棄物

汚染された容器包装

: 地域および国の規制に準拠して特殊廃棄物として廃棄します

**安全性データシート**

欧州委員会規則 (European Commission Regulation, EU) 2020/878に従い



**PCP**

バージョン : 06: 2026年01月14日

**14. 輸送情報**

<b>14.1 UN番号</b>	: なし
<b>14.2 UN正式輸送品目名</b>	: 該当せず
<b>14.3 輸送危険のクラス</b>	: それは、現行の輸送規制下では危険物質として分類されていません
<b>14.4 パッキンググループ</b>	: それは、現行の輸送規制下では危険物質として分類されていません
<b>14.5 環境危険物質</b>	: それは、現行の輸送規制下では危険物質として分類されていません
<b>14.6 ユーザに対する特別な事前注意</b>	何も必要ではありません
<b>14.7 IMO規則に従う海上バルク輸送</b>	: 非適用

**15. 規制情報**

**15.1 当該物質または混合物に特有な安全性、健康および環境にかかる規制**

**REACHステータス**

この製品における化学的混合物は、EC規制 1907/2006、1272/2008、2015/830および2020/878” に準拠していることをわれわれは確認しています

危険な化学物質の輸出入に関する欧州議会と欧州理事会の規制 (EC) No 689/2008  
- 非適用

REACH - 高懸念物質の認可対象候補物質リスト (アーティクル 59)。  
- 非適用

REACH - 認可の対象となる物質のリスト(付属書 XIV)  
- 非適用

オゾン層を破壊する物質に関する規制 (EC) No 1005/2009- 付属書 I 対象となる管理物質  
- 非適用

残留性有機汚染物質に関する規制 (EC) No 850/2004は、  
- 水質汚染クラス (ドイツ) に適用されず、  
- 水質を危険にさらす物質ではありません  
- 15.2 化学物質安全性評価  
- 入手可能な情報はありません

**安全性データシート**

欧州委員会規則 (European Commission Regulation, EU) 2020/878に従い



**PCP**

バージョン : 06: 2026年01月14日

**16. その他の情報**

**免責事項**

複数の法人組織および登録番号をセクション1に表記可能です。  
受け取り者は、この製品を提供した法人を特定する積み荷書類を参照するものとします。

この書類は、健康、安全および環境のデータの配布を目的として作成されています。  
情報は、SDS公開日にわれわれの知り得る限り正確です。  
それは仕様書シートではなく、仕様として解釈されるべき表示データでもありません。Aquapurge Ltd社が販売する製品を用いる前に、ユーザは本製品が意図する仕様に適切であり、安全かつ合法的に使用され得ると、独立して自ら決定をする必要があります。

**販売者は、契約当事者により別途合意した場合を除いて、明示的または黙示的（商品性または特定の目的への適合性の保証または保証を含む）に一切の保証を行いません。**

物理的および化学的性質および毒性指標値に使用されるなどの数値データの提示は、コンマ (,)を用いて3桁に分割して、小数点としてピリオド (.)を用いて表記しています。たとえば、1,234.56 mg/kg = 1 234,56 mg/kg.

**改定**

- 1.4 緊急電話番号
- 2.1 古い分類の削除
- 2.2 繰り返し指示の削除
- 6.4 セクションの追加
- 8.2 サブナンバリングの追加
- 9.1 引火点、熱分解温度の追加
- 9.1 物理的状态への変更
- 9.1 氷点への範囲変更
- 11.1 未分類との用語を未分類または0.1% w/w未満に変更
- 11.2.1 内分泌かく乱特性の追加
- 11.2.2 他の危険についての情報の追加
- 12.6 内分泌かく乱特性の追加
- 13.1 セクションの追加
- 14 セクションの再分類化

すべてのヘッダーを過去の規制 (EU) 2015/830から18.06.2020 (EU) 2020/878に欧州委員会が発行した新規規制に修正  
この規制は、セクション15.1 - REACHステータスにも記載されています

- 16 安全性データシート追加の終了

WEL 職場の曝露限界値

安全性データシートの終了